

大学・高専機能強化支援事業（支援 1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和6年度	学校コード	F115310105202	設置等組織名	情報デザイン学部
大学名	事業創造大学院大学	設置区分	私立		
学校種	大学院大学	都道府県	新潟	事業計画名	事業創造大学院大学情報デザイン学部設置計画

1.フェーズ別の計画及び取組状況

フェーズ別の事業計画と取組状況、年度別の自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組がある場合は「取組状況」に取組を赤字で記載してください。また、計画変更申請をした場合は「取組状況」に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
フェーズ1			○年度自己評価	リストから選択してください。
			○年度自己評価	リストから選択してください。
フェーズ2 前倒し			○年度自己評価	リストから選択してください。
認可申請 又は届出	令和6年3月 情報デザイン学部設置認可申請予定	令和7年3月 情報デザイン学部設置認可申請		
フェーズ1 後倒し	1-① 令和6年4月～ 新学部設置等に係る調査 1-③ 令和6年4月～ オンライン教材の研究・開発 1-④ 令和6年4月～ 学務システムの導入と整備 1-⑤ 令和6年4月～ 各種システムの運用開始 1-⑥ 令和6年4月～ 入学対象者向け入学説明会の実施 1-⑦ 令和6年10月～ オンライン教材の製作スタッフ配置と備品等の整備 1-⑧ 令和6年10月～ 学内サーバ（授業用）の導入と整備	1-① 令和6年10月～ 計画変更承認（R6.10.4承認） 1-② 令和7年4月～ 新学部設置等に係る調査 1-③ 令和7年4月～ オンライン教材の研究・開発 1-④ 令和7年4月～ 学務システムの導入と整備 1-⑤ 令和7年4月～ 各種システムの運用開始 1-⑥ 令和7年4月～ 入学対象者向け入学説明会の実施 1-⑦ 令和7年4月～ オンライン教材の製作スタッフ配置と備品等の整備 1-⑧ 令和7年4月～ 学内サーバ（授業用）の導入と整備	R6年度自己評価	【3】計画を十分に実施している。
				1-①～1-⑥について、ほぼ計画通りに進行中であるため、上記の通り評価しました。
			R6年度自己評価	【3】計画を十分に実施している。
				2-①について計画通りに進行中であるため、上記の通り評価しました。
開設 又は定員増	令和7年4月 情報デザイン学部（情報デザイン学科）開設予定（入学定員800人、編入学定員200人、工学関係）	令和8年4月開設（R6.10.4承認）情報デザイン学部（入学定員800人、編入学定員200人、工学関係）		
フェーズ2 後倒し			○年度自己評価	リストから選択してください。
			R6年度自己評価	リストから選択してください。
	3-① 令和7年4月～ 大学運営の開始 3-② 令和7年4月～ 各種システムの本格稼働 3-③ 令和7年4月～ オンライン教材の研究・開発（継続） 3-④ 令和7年4月～ オンライン教材の製作スタッフ配置と備品等の追加整備 3-⑤ 令和7年4月～ 入学対象者向け入学説明会の実施 3-⑥ 令和8年4月～ セキュリティサーバ（授業用）の導入と整備		○年度自己評価	リストから選択してください。
			○年度自己評価	リストから選択してください。
定員減又は 学部等の廃止	該当なし	該当なし		

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	事業創造大学院大学
-------------	-------	-----	-----------

2.申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

i) 学生募集停止中の大学

該当無し	☒ チェック
------	--

ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

該当無し	☒ チェック
------	--

iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学

該当無し	☒ チェック
------	--

iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学

該当無し	☒ チェック
------	--

v) 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

該当無し	☒ チェック
------	--

3.申請要件の取組状況

令和6年度 の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

①	高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。						
	<table><tr><td>確認を受けている</td><td>☐ チェック</td></tr><tr><td>確認の対象に該当しない</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	確認を受けている	☐ チェック	確認の対象に該当しない	☒ チェック		
確認を受けている	☐ チェック						
確認の対象に該当しない	☒ チェック						
②	十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。						
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック				
計画通りに進んでいる	☒ チェック						
③	産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）						
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック				
計画通りに進んでいる	☒ チェック						
④	特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。						
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック				
計画通りに進んでいる	☒ チェック						
⑤	計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。						
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック				
計画通りに進んでいる	☒ チェック						
⑥	特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。						
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック				
計画通りに進んでいる	☒ チェック						
⑦	社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。						
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック				
計画通りに進んでいる	☒ チェック						
⑦	学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。						
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック				
計画通りに進んでいる	☒ チェック						
⑧	入学定員が20名以上増加する計画であること。						
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック				
計画通りに進んでいる	☒ チェック						
⑨	事業計画の選定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）						
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる、又は設置等を行った</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる、又は設置等を行った	☒ チェック				
計画通りに進んでいる、又は設置等を行った	☒ チェック						
⑩	大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。						
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック				
計画通りに進んでいる	☒ チェック						
⑪	フェーズ3の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。						
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック				
計画通りに進んでいる	☒ チェック						
⑫	計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。						
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック				
計画通りに進んでいる	☒ チェック						
⑬	選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和5年4月13日文部科学大臣認可）六（2）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。						
	<table><tr><td>計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した	☒ チェック				
計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した	☒ チェック						
⑭	文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。						
	<table><tr><td>認定を受けておらず申請する意向もない</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	認定を受けておらず申請する意向もない	☒ チェック				
認定を受けておらず申請する意向もない	☒ チェック						

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	事業創造大学院大学
-------------	-------	-----	-----------

4.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和6年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

- ☒ チェック
- a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- ☐ チェック
- b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- ☐ チェック
- c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
a.株式会社新潟人工知能研究所や株式会社オレンジテクラボより技術者数名を講師として招き、AI活用に関する授業科目を開講する他、同社と連携し、課題に関するPBL型の授業科目の複数開講、意見交換会等も実施する予定である。 また、株式会社ドコモビジネスソリューションズと連携し、業務の効率化に向けた情報システムの活用方法についての共同研究等を教育内容に反映させる予定であり、以上を通じて企業との連携を通じた教育体制体制の整備・構築を実施する計画である。	a.AI活用に関する授業科目の開講については、令和8年4月より予定する教育課程（令和7年3月認可申請）において、株式会社オレンジテクラボ所属講師（基幹教員として申請）による授業科目（複数教員、複数科目）を開設する見通しが立った。また、同じ教育課程においては、課題に関するPBL型の授業科目を複数開講することとしており、株式会社新潟人工知能研究所を始めとする複数の企業から派遣された講師をゲストスピーカーに配置して情報活用に関する実践的な授業を行うこととしている。 株式会社ドコモビジネスソリューションズとの連携については、共同研究等の成果を教育内容に反映させるべく、現在検討、協議を進めている。この成果については、関連する授業科目での事例発表等で取り上げ、より実践的且つ、教育効果の高い授業として提供できるよう準備を進めている。	

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

- ☐ チェック
- a.入学者選抜における科目の見直し
- ☐ チェック
- b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- ☒ チェック
- c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- ☒ チェック
- d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキングへの対応）
- ☐ チェック
- e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
c.新潟市周辺地域の高等学校を対象に情報学分野の授業科目を開講（科目等履修制度）する。また、年数回の本学部教員による特別講義、ワークショップ等を実施し、生徒の大学教育、情報学分野への興味関心喚起の一助とする。更には、新潟市周辺地域の通信制高校と合同で起業やeスポーツ等の合同サークルを立ち上げ、初等中等教育機関との連携を図る。 d.本学部は大学通信教育課程であり、非同期型のオンデマンド教材による授業実施のため、場所や時間を考慮せずに学修することが可能であることから、社会人学生にとっては利便性が高く、学びやすい環境となっている。このうえで、カリキュラムに関しては、産業界と連携したプログラムや実務家教員による授業、また、実務に即した課題やプロジェクト学修を通じて、理論だけでなく実践的なスキルを身に着けることが可能な授業を設けることとしており、これらの取組を通じて、社会人学生の受入れ強化を図る。	c.情報学分野の授業科目の開講（科目等履修制度）については、開志創造高校、開志国際高校、開志学園高校の3校にて実施できる見通しとなった。また、同3校においては、年数回の本学部教員による特別講義、ワークショップ等の実施も併せて行うこととしている。新潟市周辺地域の通信制高校と合同で起業やeスポーツ等の合同サークルの立ち上げについては、今後の検討内容となっている。 d.令和7年3月に申請した教育課程は、計画通り、非同期型のオンデマンド教材による授業として、社会人学生にとっては利便性が高く、学びやすいカリキュラムを目指して設計した。また、同教育課程は、産業界と連携したプログラムや実務家教員による授業や、実務に即した課題解決・プロジェクト学修を通じて、理論だけでなく実践的な知識・スキルを身に着けることが可能な授業となるよう設計した。	

大学名	事業創造大学院大学
-----	-----------

本事業対象となる学部等の個数	1
----------------	---

1.本事業対象となる学部等の状況

<内訳>

(1)

改組内容	学部の新設
学部学科名	情報デザイン学部

[illegible]

大学名	事業創造大学院大学
-----	-----------

3.大学（学士課程）の状況

年度				R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度
大区分		小区分	項目	単位																		
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	***	***																	
		入学者数	人	***	***																	
	その他の学期	入学定員	人	***	***																	
		入学者数	人	***	***																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	***	***																	
		入学者数(B)	人	***	***																	
		入学定員充足率（B/A）	倍	***	***																	
	収容定員等	収容定員(C)	人	***	***																	
		編入学定員	人	***	***																	
		在籍者数(D)	人	***	***																	
		編入学者数	人	***	***																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	***	***																	

4.外部資金の状況（全学）

年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度
改組状況			選定－6年	選定－5年	選定－4年	選定－3年	選定－2年	選定		開設			完成年度								
項目	単位																				
外部資金獲得額	千円		4,774	8,625	6,163	2,743	4,382	25,063													

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 （過去5年間における各年度の外部資金獲得額のうち最大額及び最小額を除いた残り3年分の平均）（E）	千円	5,106
本事業による助成金の額(F)	千円	95,042
フェーズ3の助成期間終了時までに達成する額 （E+F×2.5%）	千円	7,482

特記事項